

# トサドリキバチ

*Stiricorsia tosensis* (Tosawa & Sugihara)

ハチ目・ヤドリキバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

## 選定理由

嶺北を中心に調査が行われたが、確認は1か所のみ。調査が進めばさらに県内でも新たな産地が報告されると考えられるが、栃木県、群馬県で減少が報告されており、県内でも今後注視が必要である。

## 種の特徴

体長オス6～8mm、メス11mm。黒色で触角末端節は黄褐色。脚は赤褐色で、前・中脚の脛節基部の外側と後脚腿節末端の上面は黄白色。里山的な環境を生息地として好む。成虫は主に立木状を走り回っているのが確認されており、5～8月に採集される。

## 分 布

本州、四国と屋久島に分布。県内では池田町冠山、大野市荒島岳、小池、鳩ヶ湯、嵐、谷山、旧和泉村朝日前坂での記録がある。今回は坂井市上竹田で確認されている。

## 生息を脅かす要因

里山林の開発や管理放棄により生息環境が消失または悪化する。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、平嶋・森本（2008）、環境省（2015）、吉田（2006）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○		○					○	

# ウマノオバチ

*Euurobracon yokahamae* (Dalla Torre)

ハチ目・コマユバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

2014年に越前町平等で採集された。青森県、栃木県、群馬県、神奈川県、東京都、石川県、愛知県、和歌山県、大阪府、兵庫県、島根県、岡山県、広島県、山口県の各府県で減少が報告されており、本県でも注視が必要である。

## 種の特徴

体長15～24mm。メスの産卵管は極めて長く、体長の6.5～9倍に達する。全体黄赤褐色。翅は赤黄色を帯び、外縁は広く暗褐色。前翅に3個、後翅に1個の黒紋がある。シロスジカミキリの幼虫に産卵し、寄生するとされるが、県内ではミヤマカミキリの幼虫への寄生が確認されている。

## 分 布

本州～九州に分布。県内では近年越前町平等で記録があるのみであるが、1950年代に高浜町青葉山でも採集されている。

## 生息を脅かす要因

森林伐採、土地造成、二次林の管理放棄等、里山環境の悪化によるシロスジカミキリやミヤマカミキリの減少が脅威となる。

参考文献 環境省（2015）、平嶋・森本（2008）、室田（2014）、渡辺ら（2012）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○				○						○				

# ウチダハラナガツチバチ

*Megacampsomeris uchidai* (Betrem)

ハチ目・ツチバチ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

嶺北を中心に確認地点が増加。本種の生息環境は特に急激に悪化しているわけではないと判断される。ただし、全国的に個体数の少ない種のようにあり、注視の継続が必要である。

## 種の特徴

体長15～20mm。キンケハラナガツチバチによく似るが、体の毛色はより赤みが強いことに加え、上顎部、単眼域、前伸腹節の点刻の特徴で区別される。地中で植物の根を食害するコウチュウの幼虫に外部寄生する。県内では主に8～10月に成虫の記録がある。

## 分 布

本州～九州に分布。県内では福井市足羽山、大野市嵐、南六呂師、高浜町青葉山で記録があった。今回あわら市、永平寺町、鯖江市、越前町、越前市、敦賀市等で確認された。

## 生息を脅かす要因

過度な農薬散布や農地の改変等が存続を脅かす。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、室田ら（2008b）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○			○	○			○		○	○	○		○	○